

令和5年度 長崎市立高島小学校 学力向上プラン

【学校教育目標】
笑顔いっぱい
～気づき、考え、行動する 高島っ子を育てる～



めざす子ども像
○思いやりと感謝の心を表せる子 ○ともに学び、ともに創り、ともに輝く子 ○たくましく行動できる子

めざす職員像
○授業に真剣に向き合う職員
○子どもに寄り添う職員
○協働する職員

めざす学校像
○学力を保障する学校
○心を育む学校
○体を鍛える学校



長崎市第五次総合計画
基本施策 G1
「長崎のまちを愛し、新たな時代を
生き抜く子どもを育みます」
○個別施策 G1-1
「確かな学力の向上を図ります」

第三期長崎県教育振興基本計画
2-1 一人一人を確実に伸ばす
確かな学力の育成

令和5年度 重点努力事項
(重点1)「確かな学力」の向上

- ①「主体的・対話的で深い学び」が身につく授業の実践
- ②校内研究による授業力の向上
- ③ICT機器の効果的活用
- ④中学校教員による乗入授業の効果への期待
- ⑤対話的な学習の機会を確保するための遠隔授業の実施
- ⑥極小規模校での利点「個別指導、個別対応」の充実

重点目標（成果指標）
国語・社会・算数・理科において、本校
で採用している単元テストの「思考・判
断・表現」における全校平均点が85%
以上を目指す。



【児童の実態】
今年度の全国学力状況調査国語科・算数科ともに、県や全国の平均をやや上回っていた。しかし算数では、思考・判断・表現を問う問題の正答率が低い。また、記述式の問題の正答率も、選択式に比べて低くなっていた。
本校の児童は、指導されたことを素直に聞き、真剣に授業に臨んだり、与えられた課題に一生懸命に取り組んだりしている。しかし、身に付けた知識・技能を生かして、応用的な問題を解決する力や、自らの考えを表現する力、自らの課題に応じて学習を工夫する自己調整能力、自主的に課題を見つけて探求活動に取り組む姿勢に課題がある。日々の授業の中で、知識・技能を身に付けるだけでなく、それらを活用して、思考し判断し表現する場面を重点的に仕組む必要がある。また、学びのゴールを意識させ、児童が見通しをもって、主体的に学習に取り組む態度を向上させていくことが必要である。



高島の宝である子どもたちの健やかな心と体の育成

